

令和元年度 事業報告

(令和元年4月1日から令和2年3月31日まで)

公益財団法人不二たん白質研究振興財団

1. 事業の概況

当財団は、昭和54年（1979年）の「大豆たん白質栄養研究会」発足以降、平成9年（1997年）の財団化、さらに平成24年（2012年）の公益財団法人化を経て、令和元年度（2019年、第23期）には発足40周年を迎えました。

40年の節目の年の令和元年度の事業の概況ですが、本財団事業の柱の一つである研究助成事業の一環である研究報告会は、本年度より新しい会場に場所を移して開催いたしました。また例年通り、前期の助成研究の報告記録誌の発刊、公開を行いました。

本財団事業のもう一つの柱である広報事業では、これまでにない活動として、第7回アフリカ開発会議（TICAD7）の外務省主催公式サイドイベントにて講演会を実施しました。このような新たな活動を行う一方で、毎年開催している公開講演会は、東京都での40周年の拡大開催を計画しましたが、当初の開催日（令和元年10月12日）は東日本台風（台風19号）、さらに延期した開催日（令和2年3月21日）は新型コロナウイルスの影響で、2度にわたり開催できなくなり、令和元年度の開催を断念せざるを得なくなりました。

2. 事業報告

1. たん白質に関する研究及びこれに関連する研究を行う者に対する研究助成事業

(1) 平成30年度研究報告会の開催

平成30年度（第22期）助成課題として採択された被助成者は1年間の研究期間を終えて、令和元年5月27日、28日の二日間にわたり、これまでの「WTCコンファレンスセンター」（浜松町）より「浜松町コンベンションホール」（浜松町）に会場を移して研究成果を報告して頂き、活発な討議が行われました。

特定研究課題2題と一般研究課題22題、若手研究者課題10題の計34件の報告がありました。特定研究では研究3年目の最終年度となる1課題（「坐骨神経切除による筋萎縮に対する大豆たん白質とホエイたん白質の相加効果」二川健先生@徳島大学）、及び2年間の研究期間を経た1課題（「新規活性ペプチド特定を基盤にした大豆β-コングリシニンの脂質代謝改善作用の分子機構解明」長岡利先生@岐阜大学）の報告があり、一般研究では、広範な学術分野に亘って大豆・大豆たん白に関わる多彩な報告がありました。それぞれの研究報告に対して各分野からご出席の選考委員はじめ諸先生方による熱心な討議が行われました。また、若手研究者枠ではポスターを囲んで各発表者の発表と質疑が行われ、専門分野の枠を越えて活発な論議が行われました。今回も官公庁、独立行政法人並びにマスコミ分野の各位にご出席のご案内をさせて頂きました。

(2) 平成29年度研究報告記録誌の刊行並びに平成30年度研究報告記録誌の編集

平成29年度（第21期）に採択され、平成30年度の研究報告会にて、その助成成果

が報告された内容を掲載した研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第21巻を令和元年6月に刊行し、関係者、希望者に無料で配布いたしました。本誌はISSN1344-4050、CODEN DTKEFVとして公開され、国会図書館等で閲覧することができます。また、科学技術文献データベース（JICST）での検索が可能です。

また、平成30年度（第22期）に採択された助成対象者による研究成果を掲載する研究報告会記録「大豆たん白質研究」第22巻の編集作業は概ね完了し、令和2年6月刊行を予定しています。

（3）令和元年度研究助成金の支払い

前年度において採択された令和元年度（第23期）の一般研究への助成として、20件の課題に対して総額20,000千円を支払い、また若手研究者枠の助成では10件の課題に対して総額5,000千円を支払いました。同時に、特定研究への助成として、前々年度、前年度採択課題2件に対して10,000千円を支払いました。これらの研究成果は、令和2年5月25日、26日に開催を予定している研究報告会において、助成対象者より報告されます。

（4）令和2年度（2020年度）研究課題の選考

令和元年9月～11月の間に財団ホームページに募集要項を告知し、学会誌並びに学会ホームページ等に募集要項を掲載して、令和2年度（第24期）の研究助成の課題を募集したところ、各研究枠に対して多数の応募がありました。

応募課題について選考委員長の京都大学松村康生教授を中心に、選考委員による検討が行われ、一般研究課題として、通年よりも1件多い、21件が採択され、若手研究者枠は10件が採択されました。特定研究の選考では、新規応募課題7件につき研究の意義や実施体制等について議論が行われ、審議の結果1件の新規課題が採択となりました。また、継続課題1件については、研究が順調推移していることから、引き続き採択とされました。この選考結果は速やかに各研究者に通知されました。

2020年度（令和2年）採択課題一覧

氏名	年齢	所属	役職	助成額	研究課題名
特定研究（計2件、助成金額 10,000千円）					
井上 啓	49	金沢大学新学術創成研究機構	教授	5,000	大豆由来などの植物たん白質による非アルコール性脂肪性肝疾患の予防・改善作用の解明
居原 秀	54	大阪府立大学大学院理学系研究科	教授	5,000	活性イオン分子を基軸とした大豆たん白質および関連成分の基礎的研究
一般研究（計21件、助成金額21,000千円）					
西川 恵三	49	大阪大学免疫学フロンティア研究センター	准教授	1,000	大豆由来成分を用いたケミカルエピソードジェネティクス研究と骨粗鬆症予防への応用
山田 朋英	39	大阪府立大学大学院理学系研究科	登録研究員	1,000	たん白質に着目したメタボリックドミノ破綻を防ぐAI個別化医療の実現化

氏名	年齢	所属	役職	助成額	研究課題名
武政 誠	46	東京電機大学大学院理工学研究科	准教授	1,000	大豆たん白質フードインクによる食品3Dプリント造形物の食感多様化
五十里 彰	48	岐阜薬科大学	教授	1,000	細胞間タイト結合分子を標的としたがん微小環境の形成を阻害する大豆成分の同定とその作用機序の解明
清水 誠	42	東京大学大学院農学生命科学研究科	特任准教授	1,000	大豆タンパク質βコングリニンの新たなセンシング機構の解明
津田 孝範	56	中部大学応用生物学部	教授	1,000	大豆たん白質摂取と運動の併用による褐色脂肪細胞化誘導作用の検証
安尾しのぶ	43	九州大学大学院農学研究院	准教授	1,000	大豆イソフラボンによる概日時計の保護に関する研究
大日向耕作	50	京都大学大学院農学研究科	准教授	1,000	グレリンシグナルを制御するジペプチドの構造－活性相関情報を活用した抗老化大豆素材の基盤開発
長野 隆男	54	石川県立大学	教授	1,000	ナノファイバー化技術を用いた大豆食物繊維素材の開発
神野 尚三	50	九州大学 大学院医学研究院	教授	1,000	老化によるストレスレジリエンスの破綻に対する大豆イソフラボンの効果
吉川 貴徳	38	京都大学大学院農学研究科	助教	1,000	ISOFLAVONE SYNTHASE (IFS) 変異がダイズの生育におよぼす影響の解明
宮脇 克行	45	徳島大学大学院社会産業理工学研究部	准教授	1,000	代謝の光制御によるダイズの高品質化技術の開発とそのメカニズムの解明
久田 孝	52	東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門	教授	1,000	大豆たん白感受性腸内常在菌 (SP-SIB) – その増減は宿主の健康に与えるのかー
亀井 康富	52	京都府立大学大学院生命環境科学研究科	教授	1,000	骨格筋における大豆イソフラボンの作用機序解析
小島 成実	50	東京都健康長寿医療センター研究所	研究員	1,000	高齢者における各種大豆製品の摂取状況が2年後の運動能力と認知機能に与える影響
清水 孝彦	52	国立長寿医療研究センター	プロジェクトリーダー	1,000	大豆イソフラボンによる筋グリコーゲン代謝制御機構解明
七里 元督	47	産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門	研究グループ長	1,000	大豆イソフラボン ダイゼインの脂質酸化酵素活性化機構に関する研究
飯田 薫子	53	お茶の水女子大学	教授	1,000	炎症および脂質代謝制御を介した大豆イソフラボンによるサルコペニア肥満改善
細川 雅史	53	北海道大学大学院水産科学研究院	教授	1,000	大豆タンパク質成分とn-3系高度不飽和脂肪酸の併用による糖・脂質代謝調節機能の解明

氏名	年齢	所属	役職	助成額	研究課題名
橋口 晶子	39	筑波大学医学 医療系	医学 医療系 URA	1,000	ダイズ湿害抵抗性の分子基盤の多階層ネットワーク解析
濱口 真英	44	京都府立医科大学内 分泌・代謝内科学	講師 (学内)	1,000	大豆たん白質摂取をはじめとした食事習慣が糖尿病関連腸内細菌叢パターンに及ぼす影響
若手研究枠研究（計10件、助成金額 5,000千円）					
寺田 祐子	32	静岡県立大学 食品栄養科学部	助教	500	大豆臭を決定づけるヒト嗅覚受容体396種の応答パターンの解明
松居 翔	35	京都大学大学院 農学研究科	助教	500	大豆たんぱく質摂取が糖質嗜好性に及ぼす影響
森 貴裕	31	東京大学大学院 薬学系研究科	助教	500	腸内細菌由来イソフラボン類配糖体脱グリコシル化酵素の構造機能解析
中野 真人	33	岡山大学	特別 研究員	500	植物免疫系を活性化する大豆ペプチドの探索と機能解析
奥田 綾	30	京都大学複合原子 力科学研究所	研究員	500	溶液散乱法による大豆種子貯蔵たん白質の構造解析
高橋 将記	35	早稲田大学重点 領域研究機構	研究院 講師	500	おからの耐糖能改善に着目したヒトの時間栄養学的研究
小林 周平	29	東北大学大学院 医学系研究科	助教	500	大豆由来の脂肪酸栄養が形質細胞様樹状細胞による免疫制御に及ぼす影響の解明
谷口 祐一	33	京都府立大学生命 環境科学研究科	助教	500	大豆たんぱく質が皮下脂肪の糖代謝を高めるメカニズムの解明
中本真理子	35	徳島大学大学院 医歯薬学研究部	助教	500	地域在住日本人の大豆製品摂取に寄与する食環境・食行動・食意識関連因子の探索的検討
橋本 彩子	30	京都女子大学家政 学部食物栄養学科	講師	500	大豆成分による効率的な亜鉛吸収に関する研究

以上、助成総額は36,000千円となっております。

2. たん白質に関する研究及びそれに関連する研究に関する広報事業

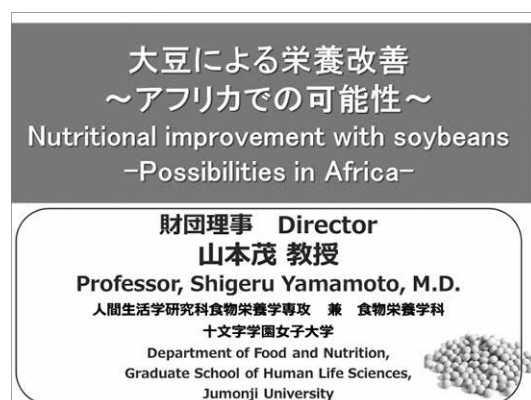
(1) 平成30年度研究成果の広報

研究報告会記録「大豆たん白質研究」第21巻に掲載された報告内容は、インターネット上で検索システムを付けて公開し、随時閲覧が可能といたしました。

(2) 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）公式サイドイベント参加

令和元年8月28日にTICAD7の外務省主催の公式サイドイベントとして講演会を実施しました（パシフィコ横浜イベントホール）。講演では、清水洋史理事長による本財団

および不二グループのESG経営の紹介の後、財団理事の十文字学園女子大学教授山本茂先生による、「大豆たん白質による栄養改善～アフリカでの可能性～」と題して、ご講演いただきました。WHOが提唱する栄養不良の二重負荷が進みつつあるアフリカにおいて、大豆たん白の可能性について大変示唆のある発表をいただきました。



(3) 公開講演会

栄養士・一般の方を対象に「大豆のはたらきin東京－大豆に関わった40年・未来への提言－」と題して、実行委員長を東京大学名誉教授・東京農業大学客員教授 清水誠先生とし、経団連カンファレンス国際会議場にて4名の先生(東京大学教授 佐藤隆一郎先生、東京農業大学教授 石見佳子先生、農研機構畑作物研究領域長 羽鹿牧太先生、京都大学名誉教授 家森幸男先生)を演者としてお招きして、拡大公開講演会の開催を計画しました。

当初開催を予定しておりました令和元年10月12日は、東日本台風(台風19号)の接近に伴い、気象庁からは自ら身を守る手段を講じるようにとまで警告が発せられましたことから、聴講者および関係者の皆様の安全を第一とし、開催を延期することといたしました。延期日は会場等の関係で、令和2年3月21日といたしましたが、1月末より世界中に蔓延しました新型コロナウイルスの影響による政府からのイベント自粛要請に従い、聴講者、関係者の皆様の健康を最優先に、開催を断念しました。

以上のように、令和元年度の口頭での公開講演会の開催はできませんでしたが、演者の先生には、当初より計画しておりました講演記録誌の作成へのご協力をお願いし、編纂後には聴講を希望されていた聴講者及び関係者の皆様に配布したいと考えております。本計画は、

演者の先生にもご了解を得ることができ、先生方のご協力のもと現在作成準備中です。

3. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 事業時報の発行

財団の内容説明と事業紹介のため「時報」第22号を刊行しました。

(2) 事業活動等の公開

平成30年度の事業報告・決算報告並びに財務内容、及び本年（平成30年）度の事業計画・予算を総てインターネット(<http://www.fujifoundation.or.jp>)上に公開しました。ここには役員・評議員等関係者の随想も掲載されています。加えて、ホームページ中で改訂が遅れていた報告会記録誌「大豆たん白質研究」の検索システムも改訂しました。

(3) 平成29年度公開講演会記録誌発刊

遅れておりました平成29年11月6日開催の公開講演会「大豆のはたらき in 大阪 -おいしさと健康を通して-」の記録誌作成ですが、令和元年秋に発刊し関係者の皆様に配布いたしました。

3. 会議等 注) 文書中決議事項は（議）を付した。

1. 理事会

(1) 第1回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：令和元年5月8日（決議があったものとみなされた日）

事項：令和元年度事業報告の承認

令和元年度決算に関わる計算書類の承認

定時評議員会（第1回評議員会）招集についての承認

(2) 第2回理事会の開催

日時：令和元年5月28日

場所：「浜松町コンベンションホール」6階・会議室2（東京都港区）

議題：第1号（報）平成30年度事業報告について

第2号（報）平成30年度決算に関する計算書類について

第3号（議）令和2年度研究助成課題募集について

第4号（議）令和元年度広報事業について

第5号（議）令和元年度日程について

第6号（報）代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

(3) 第3回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：令和元年12月28日（決議があったものとみなされた日）

事項：令和元年度臨時評議員（第2回評議員会）招集に関わる事項

(4) 第4回理事会の開催

日時：令和2年1月28日

場所：千里阪急ホテル 葵の間（豊中市）

議題：第1号（議）令和2年度事業計画案について

第2号（議）令和2年度予算案について

第3号（議）令和2年度研究助成課題の採択について

第4号（議）新任選考委員の選任と体制について

第5号（議）基本財産の取り扱いについて

第6号（議）日程について

第7号（報）代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

第8号（報）諸規程の改訂について

第9号（報）財団情報の海外への発信について

2 評議員会

(1) 定時評議員会（第1回評議員会）の開催

日時：令和元年5月28日

場所：「浜松町コンベンションホール」6階・会議室2（東京都港区）

議題：第1号（議）平成30年度事業報告について

第2号（議）平成30年度決算に関する計算書類について

第3号（報）令和2年度研究助成課題募集について

第4号（報）令和元年度広報事業について

第5号（報）令和元年度日程について

第6号（報）代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

(2) 臨時評議員会（第2回評議員会）の開催

日時：令和2年1月28日

場所：千里阪急ホテル 葵の間（豊中市）

議題：第1号（議）令和2年度事業計画案について

第2号（議）令和2年度予算案について

第3号（報）令和2年度研究助成課題の採択について

第4号（報）新任選考委員の選任と体制について

第5号（報）基本財産の取り扱いについて

第6号（報）日程について

第7号（報）代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

第8号（報）諸規程の改訂について

第9号（報）財団情報の海外への発信について

3 選考委員会

(1) 第1回選考委員会の開催

日時：令和元年5月27日

場所：「浜松町コンベンションホール」6階・会議室2（東京都港区）

議題：令和2年度研究助成課題募集要項について 他

(2) 第2回選考委員会の開催

日時：令和2年1月28日

場所：千里阪急ホテル 紅梅の間 (豊中市)

議題：令和2年度助成課題の選考について 他

附属明細書の作成について

1. 事業報告に関して、その内容を補足する重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

以上